

リノベーションプロジェクト2023 「ふじの荘」DIYリノベーション season01

建築都市工学部
住居・インテリア学科
准教授

信濃 康博



研究シーズの紹介

2023年春、学生に自由にリノベーションデザインとDIY施工をしてもよいという好条件の木造2階建て賃貸アパート「ふじの荘」と産学連携することができた。同時に重労働で、長時間拘束され、責任ものしかかる本プロジェクトに、自らの意思で参加したいという学生(女子)2名が乗り出た。担当学生2名は「卒業研究」のテーマとして、それぞれ1住戸ずつ担当し、まず基礎調査を行い、リノベーションデザインを作成し

た。それをマンションオーナーにプレゼンしたところ高評価を得て、担当学生自らDIY施工を実施することになった。

材料選定、見積書作成、買出し、搬入等、DIY施工は、初めての取り組みであるがゆえ困難を極めたが、2024年3月中旬の卒業式前になんとか完成した。オーナーには喜んでもらい、メディア取材の依頼もあった。



産学連携による
空き家・空き室を再生・
活用する技術

- 学生の実践的体験学習の場となる。
- 空室の住戸が学生によるデザインとDIY施工により再生・活用される。

「ふじの荘」

住所：福岡市東区若宮5丁目9-33
竣工：1977年01月 / 築約46年
構造：木造2階建
用途：共同住宅
間取：3DK(約46㎡) 全10戸
用途地域：第一種低層住居専用地域



外観



202号室



203号室



プラン発表会

期待される活用シーン

● 高経年の木造2階建てアパートの所有オーナーは、借り手のつかない空室に借り手をつけたい



産学連携により学生の体験学習としてDIYリノベーションを実施し空室の再生・活用につなげる。



● 空室をリノベーションしようとしても、ありきたりのリフォームレベルのデザインになってしまう。



学生の感性を生かしたリノベーションデザインの部屋を学生がDIY施工することで得ることができる。

